

森林経営管理制度に関する記述A～Dのうち、妥当なものの組合せはどれか。

- A. 森林経営管理制度は、林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図っていくことを目指し、スタートした。
- B. 森林経営管理制度では、森林所有者は林業経営者や市町村に森林の経営管理を任せるとはできない。
- C. 森林経営管理制度の活用により、間伐手遅れ林の解消などを促進し、森林の経営管理が行われるようにすることで、森林の多面的機能の維持・発揮が図られる。
- D. 森林経営管理制度を通じて、林業経営に適した森林については、管理コストの低い自然に近い森林へ誘導していくこととしている。

- 1. A と B
- 2. A と C
- 3. A と D
- 4. B と C
- 5. B と D

正答：2

1 ha あたりの立木本数が 2500 本、平均樹高が 14.0m のスギ人工林がある。  
この林分の<sup>そうたいかんきょ</sup>相対幹距として妥当なものはどれか。

1. 1.8
2. 3.5
3. 14.3
4. 28.0
5. 28.6

正答：3

次の文章は木材の防腐に関する記述である。文章中のA～Dに入るものの組合せとして妥当なものはどれか。

木材の主要成分はセルロース及びヘミセルロースの  並びにリグニンであり、  の総量は約  %に達する。したがって、自然界では木材は微生物が好む栄養源であり、各種の変質分解作用を受けて劣化を起こしやすい。木材を菌類から保護するために、木材を分解する微生物を  したり、発育を  したりすることを防腐という。

	A	B	C	D
1. 炭水化物		70	殺菌	阻止
2. 炭水化物		50	培養	促進
3. タンパク質		70	殺菌	阻止
4. 炭水化物		70	培養	促進
5. タンパク質		50	殺菌	阻止

正答：1